

投稿日:2020年10月13日

タイトル:「紅葉のおはなし」



6時 30分 気温:5.5℃ 天気:晴れ

こんにちは。秋も深まってきました。少年自然の家は周りの広葉樹の木々が赤や黄色に色づきカラフルな景色のなかに入っています。

毎年紅葉についてのお話をしていますが、おさらいをしてみたいと思います。

### 「黄色くなる黄葉(おうよう)」

黄色くなる葉は秋になり太陽光のあたる時間が少なくなり寒くなってくると、葉の中にある緑色の葉緑素がだんだんこわれてそれまで隠れていた黄色い「カロチノイド」の粒が表面に現れて葉が黄色く見える。ブナ、イチョウ、シラカバなど

### 「赤くなる紅葉(こうよう)」

秋になると葉の根元と木の枝の間にコルク状の「離層(りそう)」という物質ができる。これにより葉の中に光合成で作られていた糖分がたまり、濃度が上がる。そこに日光が当たると葉の葉緑素「クロロフィル」が分解され糖分と化学反応し

「アントシアニン」という赤色の色素になる。「アントシアニン」が増えると葉の表面が赤くなる。「アントシアニン」は「カロチノイド」と違って、葉が緑色の時はまだ存在していない。ナナカマド、カエデ、うるしなど 何回か読んで覚えてね！

枯れたような褐色になる「褐葉」もあり調べてみるのもいいと思います。



「去年の紅葉のほうがきれいだったね、」等のお話を聞くことが時々あります。それは紅葉に至る条件の変化によってきれいさが変化するようです・・・きれいな色の条件は、

☾ 昼と夜の寒暖の差が大きいこと

☀ 日中の天気がいいこと

☂ 適度な雨や水分があること ……キノコにも言えますね

さらに草紅葉(黄葉)もあるよ。2つ目の画像はクラフト室前の「セキヤノアキチョウジ」(シソ科ヤマハッカ属。箱根に多く見られることから関所の番小屋、関所の秋丁子を呼んだそうです。おうちの周りでも木だけでなく草にも目を向けると新しい発見があるある! ?

(ま)